上郷東地区まちづくり協議会 第３回協議会　会議録	
日時	平成 28 年 3 月 19 日（土）14:00～16:20
開催場所	上郷地区センター
出席者	委員：大原委員（座長）、豊田委員、吉田委員、内田委員、宮谷委員、清水委員、小野委員、島村委員、市川委員、下里委員、松井委員、高橋委員（社）、芦川委員、佐伯委員（代理）、伊藤委員、森委員、亀梨委員、山口委員、高橋委員（環）、田村委員、大井委員、飯塚委員、森田委員、神山委員 講演者：鎌倉女子大学　松橋准教授 事務局：栄区区政推進課（５名）、日本開発構想研究所（３名） 傍聴者：５名
欠席者	西川委員、川崎委員、角田委員、高橋（理）委員
意見交換	・短期として設定されていても進まない可能性がある。「魅力づくり・魅力アップ」は総括的な項目で具体的取組が必要、「土地利用」も来年使えるかというと難しい。着手できるものをすぐに進め、小規模でもできることを実施し、広げていってはどうか。高齢化が進展しているので、すぐに進めないと後手後手になってしまう。 →できることから着手することを意識し、テーマの絞り込みを行った。テーマが決まれば具体的検討が可能になるだろう。資料では地区別分科会と提示したが、具体的な取組に対して積極的に対応していきたい。（区） →庄戸中学校跡地の本格利用までの暫定利用については管理運営委員会を立ち上げ、具体的な利用検討を進めていく。（区） ・子育てに関連した話があったが、上郷東地区で現実的に実施することは難しいだろう。空家は庄戸地区に 40 軒程あるが、借りられる物件は少ない。行政からの支援があれば、利用が促進し、子育て支援の場の設定もできるのではないか。 ・今後の取組について、何に取り組むのかが問題だ。問題毎に誰が中心となり、何をやるのか、前面に出した方がいい。平成 28 年度に協議会メンバーが替わっても、新しいメンバーにどう説明して参加してもらうのか、明確になっていない。もう少し整理する必要がある。 ・神奈川県プロジェクトとして、三浦半島や山北を対象に県居住者の呼びかけをしている。上郷東地区の地域の魅力をなぜ打ち出さないのか。メリットを前面に打ち出して、魅力を感じる方に来てもらうように呼び掛けていただきたい。 ・魅力発信は大きなテーマになる。今後は議論ができる人数規模、範囲で展開が必要である。全地域足並みを揃えるのは難しいので、できるところから進めて行くことが望ましいだろう。協議会は各地区の報告や情報交換で進めて行くことになるのではないか。（座長） ・「健常者・障がい者・高齢者がともに活動できる場所」を何とかしたい。どのように活用するか、次の世代にバトンタッチするためのまちづくりを考える必要がある。各地区では開発時期が異なり、考えも違うので、個々に進めればいいだろう。

	・協議会開始時以来、一年経つが都市計画・道路計画等のまちづくりの基本となる計画とのつながりが欠けている。もっと具体的に出来ることから進めてほしい。 ・「庄戸中学校跡地利用」は中期に位置づけられている。管理運営委員会ができたが、暫定利用ではなぜ校舎が除かれているのか。また、「都市計画道路上部利用」とは何を指すのか。 →「都市計画道路上部利用」は横浜環状南線庄戸トンネルの上部利用のこと。（区） →庄戸中の後利用については、本格利用と暫定利用がある。本格利用とは、校舎等を壊す、壊さないも含めて、根本的な用途を考えていくことであり、暫定利用は本格利用が決定するまで、あくまで暫定的に現存する施設等を利用することである。 庄戸中は閉校となり原則利用できないが、コミュニティハウスと防災拠点については区として暫定利用を申請し、利用できるようになっている。また、体育館・格技場・グラウンドについては地域からスポーツ利用を望む声があり、施設の安全性確保と管理団体を地域で作ることを条件に暫定利用に向けた準備を進めている。校舎については、教育委員会から安全管理の面で利用できないといわれており、利用はできない。本格利用については、地域の声を聴きながら進めていくために時間がかかるので、暫定利用はそれが決まるまでの利用となる。（区） ・中学校の利用目標はいつ頃を目処にしているのか。 →協議会を進める中で、上郷東エリアの地域課題や必要な機能を把握し、その解決に向けて庄戸中という資源を有効に活用したいと考えている。 用途地域等による厳しい制限があるので、協議会の意見がそのまま反映されるとは限らないが、地域の課題解決や、外部から人を呼び込むことを目指して多くの方から御意見をいただく必要がある。（区） ・すぐにでも利用したいという意見がある。各町会に一部屋ずつ割り当てるといった単純な方式でもいいので、アップテンポで対応していただきたい。 →施設をそのまま利用するのかどうかも検討対象となる。（区） ・住民は施設がそのまま利用できるのだから使わせて欲しいと考えている。校舎も今まで使っていたのに、なぜ同様に利用できないのか。 →暫定利用については、地域で管理運営できる範囲に絞っている。校舎は、安全管理の面から現状では利用できない。（区） ・庄戸中学校跡地利用は地域にとって大きなテーマである。本格利用を考えるならば、検討グループを組織することになるだろう。その際に、用途制限などの前提条件を早めに情報提供してほしい。 ・庄戸中学校跡地は上郷東地区の中でも重要な拠点である。本格利用に向けて検討を進めて行きたい、ということが共通の認識だ。跡地利用検討会のような組織を協議会の下部組織なり、独立した組織なり、設置することが重要だ。（座長） ・例えば毎月ベースで集中的に協議を進め、来年度中に方向性を打ち出してほしい。 →全体としては交通・庄戸中学校跡地といった大きな問題を協議会で御意見いただきた

	い。地区別にも意見交換をさせていただき、協議会で共有していきたい。年度初めに各会長が交替した後、個別にご説明とヒアリングをさせていただき、早期に協議会を開催したい。（区） ・これまでに決まったことを明確にして、共有したい。 重点検討に挙げられた課題は現行制度・施策の中では限界がある。特区利用の可能性を含め、地域の取組が国や県に認めてもらうことができるのか。何か１つでも実現できれば大きな成果につながるだろう。 ・庄戸中学校跡地利用については、テーマとして分科会等で議論してはどうか。 来年度は地区ごとの重点課題を明確化し、分科会での話し合いをスタートさせる。早い時期に協議会を開催したい。（座長） ・早い時期に各地元代表者と一緒に、地区内の若い世帯を対象にヒアリングを実施してもらいたい。直近の転入者やリフォーム住宅の居住者に絞り込みヒアリングをしてはどうか。さらにヒアリング対象者にも話し合いに参加してもらってはどうか。早く行動にうつしてほしい。 ・年代が違えば意見も違う。若い人たちの意見を聞きたい。また、ブロック別の人選も早めに進めたい。（区）
資料	・議事次第 ・【資料 1】現況調査の概要報告 ・【資料 2】自治会町内会長ヒアリング概要報告 ・【資料 3】まちづくり×子育て～子どもが見える風景を目指して ・【資料 4】横浜市栄区上郷東地区　長寿社会のまちづくりアンケート 2015　単純集計結果 ・【資料 5】平成 28 年度の進め方 ・第 2 回協議会議事要旨 ・まちづくりニュース　第 2 号